



2017-2018年度 主題

国際会長 : Henry Grindheim "Let us walk in the Light-together  
「ともに、光の中を歩もう」  
アジア会長 : Tung Ming Hsiao "Respect Y's Movement"  
「ワイズ運動を尊重しよう」  
東日本区理事 : 栗本 治郎 「広げよう ワイズの仲間」  
湘南・沖縄部長 : 金子 功 「Y'sの絆を強め、広げよう」  
クラブ会長 : 今城 宏子 「笑顔で奉仕、奉仕で笑顔」  
~仲良く、楽しく、無理をせず~



今月の聖句

いつも喜んでいなさい。  
絶えず祈りなさい。  
どんなことにも感謝しなさい。

テサロニケの信徒への手紙 I  
5・16-18

(信徒の友"みことばにきく"より)

2017年9月本例会

日時: 9月22日(金)18:30~

場所: かけはし都筑

司会: 辻Ts 受付: 岡田M

《プログラム》

開会点鐘 今城H会長

ワイズソング・ワイズの信条 一同

今週の聖句・祈禱 鈴木S

会長挨拶 今城H会長

ゲスト・ビジター紹介 司会者

卓話・体操指導 佐藤節子

テーマ:「わくわく健康体操」

YMCA報告

Happy Birthday

・山中奈子ワイズ(9/15)

各種アピール

閉会点鐘 今城H会長

~卓話者プロフィール~

佐藤節子さん(厚木C)

・次期湘南・沖縄部長

・横浜YMCA非常勤講師 ・日本ス

ポーツ協会公認上級指導者 ・日

本教育カウンセリング協会公認上

級カウンセラー ・日本レクリ

エーション協会公認レクリエーション

コーディネーター ・福祉レクワーカー

他多数

巻頭言

クラブ書記 今城 高之

最近観た、「死の海からの脱出」というTVの記録番組が余りにも壮絶で、深夜にもかかわらず思わず見入ってしまいました。北アフリカのリビアから小舟で地中海を渡り、ヨーロッパを目指すアフリカ難民の救助にあたるアクエリアス号(ドイツ籍)に乗船するボランティア「ヨーロッパ地中海SOS協会」の活動取材したものです。108名の難民が乗船する畳十畳程度のゴムボートが嵐に遭遇し、沈没寸前のところをアクエリアス号が救援に向かいます。ゴムボートは既に浸水し、一部の難民は海の中でボートにかじりついている有様です。アクエリアス号の小型船が、ゴムボートに接触しようとするが波が高くはかどりません。水中にいた何名かは力尽き、ゴムボートから離れて漂いしました。救難船から浮輪が投げられますが、それを掴む力もなく、波間に消えてゆきました。これまでも、難民船が転覆し、乗員のほとんどが命を落としたことが何度もあったとのこと。ようやく、赤ん坊、こども、女性、病人の順に小型船に乗り移り始め、何回かに分けてアクエリアス号に収容しました。



危険な作業に黙々と取り組むボランティアたちの姿が印象的でした。本船に移った難民たちは疲れ果てていて、支給された毛布をまとめて甲板に倒れ込みます。西アフリカの紛争国から来た若者は、ヨーロッパ行きを決心して出国後、様々な国をさまよい、難民船の出発地リビアに到着するのに7年間を費やしたと語ります。難民の出口ともいうべきリビアでは、多くの難民が迫害を受け、死の危機に瀕したもや、家族や知人が目の前で殺害されたと語ります。ゴムボートは沖合に停泊しており、貯えの全てをばたいて手にした乗船の権利があっても、そこまで泳いでいくことを強要されたそうです。たどり着けず、溺死した人多かったと言います。かかる危険を冒してもヨーロッパへ向かうのは、難民としてアフリカにいれば、将来は悲惨で死が待っているだけだと彼らは言います。

食事が配られ、「世界の医師団」派遣の医師、看護師が難民を診察し、病人への治療が始まるころ、アクエリアス号はイタリアの港に向かいますが、難民たちが上陸できるかどうか、定かではありません。今年、イタリアが受け入れたアフリカ難民の数は既に8万人を超え、イタリア政府は、これ以上受け入れることができないことを発表しました。今後、彼らがどうなってゆくのかを思うと居たたまれない気持ちになります。私たちに何ができるのでしょうか。アクエリアス号に乗り込むボランティアのような活動は到底出来ません。我々のクラブでも、弱者に寄り添った活動を目指しています。私たちが、身近で助けを必要としている方々に手を差し伸べることはできても、遠くで大変な状況にさらされている人たちに何ができるか、心を悩まします。真の国際ボランティア組織として、ワイズメンズクラブ国際協会が担うべき役割をもう一度考えて見ましょう。(完)

《前月のデータ》

例会出席	18名	在籍会員数	17名	各種記録	前月	累計
メンバー	9名	月間出席数	12名	使用済切手	0g	0g
ビジター	6名	メーキャップ	3名	ブルタブ	0.6kg	0.6kg
ゲスト	1名	月間出席率	88%	スマイル	7,087円	43,087円

## 《報告》 つづきクラブ8月例会報告

クラブ会長 今城宏子

日時：8月25日（金）18：00

出席：今城 T・H、久保、胡麻尻、鈴木 S、  
辻 Ts、福島、三木、横田

ゲスト：高松さん

※同時開催の「You & I コンサート運営委員会」は後述

### 【本例会】

司会：今城 T

今城 H 会長による開会点鐘に続き一同でワイズソング・信条を唱和。今月の聖句朗読・開会祈祷会長が行った。

### ◆ 予定確認事項

会長より、9月16日(土)開催の部会へのお誘いと出欠確認がされた。

10月14日(土)のチャリティーランについては9月事務例会にて確認を行うこととなった。

### ◆ 報告事項

- ・ 功労会員田中庸夫さんの退会を承認
- ・ 8/5～7の被災地支援コンサート実施
- ・ 8/17～18 の災害ボランティア・フェア
- ・ 8/22の「かけはし都筑」拠点利用団体交流会
- ・ 8/23の「かけはし都筑」ボランティア交流会 等につき、それぞれ担当者が報告。
- ・ 善意銀行助成金の一部でホットプレート購入（主にすぷーんの調理ボラで使用)の件が報告された。

- ◆ Happy Birthdayは辻Ts、久保ワイズに加え You & I コンサート運営委員のうち3名の方が8月生まれとのことで盛大にお祝いの歌を歌いプレゼントを贈呈しました！

なお、当日はご葬儀やお通夜のため2名、検査入院のため1名が欠席、1名が退会と寂しい会のスタートは若干寂しかったが、同時開催の「YOU & I コンサート運営委員会出席者も参加したため、実りある会となった。

### 【You & I コンサート運営委員会】

本例会に引き続き、来る10月7日開催のYou & I コンサート（第7回)に向け、表記会議を開催しました。会議出席者は次の通り。

みんなの家から中村真知子さん、上瀧理事長夫妻、アスタPCから鈴木さん、ACNからロブ先生、つづきクラブから今城H会長、今城T、横田さんが出席した。

事務局より、今回コンサートの概要と準備状況のあらましを報告し、来場者獲得に関して委員の協力を要請。コンサート案内チラシを各出席者にお持ち帰りいただく。(当日欠席の委員へは後日郵送)

### 【納涼懇親会食会】

- ◇ コンサート運営委員会からはロブ先生が出席、最後には旧メンバーの宮村夫妻が愛犬同伴で参加、賑やかな会となった。
- ◇ また、胡麻尻さんが元気に復帰（蒸し鶏）、三木さん（野菜たっぷりカナッペ）、福島さん（豪華焼きナス）手料理を提供下さると同時にTKBの少数精鋭として準備から片付けまで活躍下さり感謝であった。
- ◇ 赤銅色（農作業ならぬゴルフ焼け）の久保さん持参の朝採りトウモロコシや辻家自慢の餃子、高之チキンやパエリヤ、ピザ等のほかワインやおつまみを提供くださった高松様はじめ皆様、ご馳走さまでした！9月からの活動の源となりました！！（完）



諸般の事情から、恒例のBBQ大会を中止し、室内での持ち寄りパーティーとなった。

## 第2回つづき防災フェア報告

(Natural Disaster Prevention Fair)

去る8月17日(木)・18日(金)の両日、都筑区役所ホールにて、都筑区災害ボランティアネットワーク主催、都筑区役所、都筑区社協後援の第2回都筑防災フェアが開催され、ネットワークに加盟する当クラブも参加しました。

このネットワークは、甚大な災害が発生した災害の復興支援に、全国から救援に駆けつける災害ボランティアを受け入れ、助けを必要としている被災者へ派遣する調整活動(コーディネート)を行なうグループです。

区役所・横浜市・東京ガス・東京電力など多くの出展団体の協力を得て、パネル展示やPRを行い意識の向上に向け活動しました。

我々も横浜YMCAの熊本災害などにおける災害ボランティア活動支援の様子等をパネルで展示しました。

今後とも区民の意識向上にむけ、活発な活動

をしていかなければと考えます。

経験のある林 茂博さんと息子さんのアドバイスを受け、それぞれの役目を果たすことができました。感謝です。

広報活動として、今城宏子会長がカメラ持参で、岡崎さよ子さんが陣中見舞いに来てくれました。

横田 孝久 記



YMCAの活動を示すパネルの前で

## つづきクラブ9月事務例会 報告

日時 9月12日(火) 18:00~20:00

場所 田園都筑教会

出席者:今城T・H、岡崎、岡田K・M、久保、胡麻尻  
鈴木K・S、辻Ts、福島、横田 (12名)

◆ 会長の開会点鐘、黙祷をもって開会

◆ 協議

- ① 第7回You & I コンサート
  - ・当日の役割分担等につき決定。
  - ・当日は、11:45に入口ホールで開会
  - ・演奏者へのお礼はTKB検討・準備
- ② 10/14チャリランの参加者を募る(本例会で決)
- ③ 10/19東北被災地訪問
  - 浅見さん(東京グリーン)、石丸さん(武蔵野多摩)の参加はほぼ決定。当クラブから辻Ts、今城Hの両名が参加予定。
- ④ 10/22の都筑区福祉農園のフェアには、岡田K・Mが参加の予定。
- ⑤ 10/27(金)の「移動例会」は小田原、箱根・東山荘方面で検討中。知人への声掛け。
- ⑥ クラブHPの扱いにつき検討。更新の手立てがないまま継続するのはむしろ逆効果との意見強く、計画を打ち切る事となった。

◆ 確認事項

- ① 9/16(土)の部会出席者を確認。今城T・H、岡田K・M、鈴木S、辻Ts、久保が出席予定。
- ② 同日午前のY's杯こどもサッカー大会への出席者を確認。
- ③ 9月、10月の行事予定を確認。予定表を更新して後日配布する。
- ④ 9月本例会(22日)は佐藤節子さん(厚木C)が卓話をしてくださる。体を動かすので軽装で参加。タオル、飲料も持参のこと。
- ⑤ 来る10/30午後の「第37回横浜市社会福祉大会」にて、当クラブがボランティア活動功労区分で市長賞を受賞することとなった。今城会長他が出席の予定。
- ⑥ 辻Tsワイズより、国際レベルでのガイドライン変更につき発言があった。新クラブの最小会員数を、従来の15名から5名に変更。また、国際選挙に関わるルールとの矛盾も指摘されている。

※ 例会終了後の『一心』での会食には11名が参加。秋の夜長を楽しく過ごすことができました。

(今城高之 記)

## 第78回 YMCA-Y's 協議会 報告

日時:2017. 9. 5(火)19:00~20:30

横浜YMCA 501号室

当クラブ出席者:今城H、岡田M、辻Ts

- ◇ 開会礼拝:黙祷、讃美歌:532番、  
聖書:ローマの信徒への手紙5:3~4、  
祈禱青木一弘横浜クラブ担当主事
- ◇ 以下、舟田正夫横浜クラブ会長の司会で進行。
- ◇ 挨拶:金子 功ワイズメンズクラブ湘南・沖縄部部長

### 《協議》

- 1) ワイズデー・チャリティーコンサートについて(金子部長)
  - ・11/11に行うのは難しく、代わりに10/21~22に富士山YMCAで行われるリーダー研修会に合流してはどうかとの提案がされたが、部役員会の日程と重なるため調整が必要であることから結論は出されなかった。

- 2) Y-Y's合同新年会について(金子部長)
  - ・1/13(土)ランチタイムにしてYMCAの職員の方達に参加して頂くことが提案されたが、主事の方達から昼間はプログラムが過密であるため、参加は難しいとの意見が多く出され、再検討となった。
- 3) ブランディングプロジェクトについて (担当主事)
  - かねてから準備されていたブランディングが発表され、詳しい説明をビデオ等を用いて説明された。
- 4) 報告
  - ・湘南・沖縄部報告、各クラブ報告(当クラブはYOU & Iコンサート)
  - ・YMCA報告:チャリティーラン、第24回AIDSフォーラム
- 5) 閉会挨拶:田口 努横浜YMCA総主事
- 6) 次回は12月5日(火)19:00-20:30  
担当:鎌倉クラブ

(今城宏子 記)

## 《北YMCA報告》

北YMCA館長 山中 奈子

8月に横浜北YMCAスタッフ2名が海外で活躍をしています。野外活動を中心に担当している田北孝紀さんは6月末からカナダ・バンクーバーYMCAでキャンププログラムサポートを行っています。8月25日には8週間におよぶ長期キャンプが終了し、現地キャンプもひと段落をしたようです。カナダでのキャンプは日本と違い、ほとんどがフリーチョイスプログラムです。毎日様々なプログラムが展開されています。写真はチョイスプログラムExtrem Makeoverというプログラムで、ただただ

1時間子どもたちがリーダーを仮装、メイクするというプログラムです。日本では考えられないことがたくさんあります。8/18(金)~8/28(月)の11日間 小田切勇真さんが「第24回ボランティアinタイ」に参加しました。スタッフ2名、メンバー5名 7名が参加しました。以下が報告です。



「このプログラムは、タイのAIDS支援施設、人身売買保護施設へ赴き、そこで暮らす子どもたちと交流を行うことと、タイを取り巻く環境や社会問題に触れ、それぞれが何を学び、それを日本へ持ち帰りどう行動していくかが目的となります。人身売買についての勉強会も実施しました。人身売買とは何なのか、どういう行為や形態があり、それに対しどういう対策があるか、自分たちが何を感じたかを話し合いました。日本で暮らしているだけでは、人身売買に触れる機会はないと思います。しかし、世界では実際に利益や欲求の為だけに売られていく人々がたくさんおり、私たち日本人にも無関係な話ではないことを痛感しました。」



▽いつの間にか、という言葉を実感する秋の訪れ。気が付くと蝉の声が変わっている▽当クラブも、実質4名の減員となり、9月の事務例会も何か物寂しい思いがしたのは編集部だけだろうか▽もっとも、クラブ最大のイベント「You & Iコンサート」を三週間後に控え、感傷に浸っている場合ではない。来場者の獲得に、クラブ員全員の踏ん張りをお待たしい。読者の皆さんもおそいで。

(編集子)

《編集後記》